

31H 松中 愛                      32H 長 嵐                      32H 大西 峻輔  
 34H 濱出 航大                    35H 大矢 柊子                36H 小林 稜河

■課題

外国人が移住しやすい街にするには？

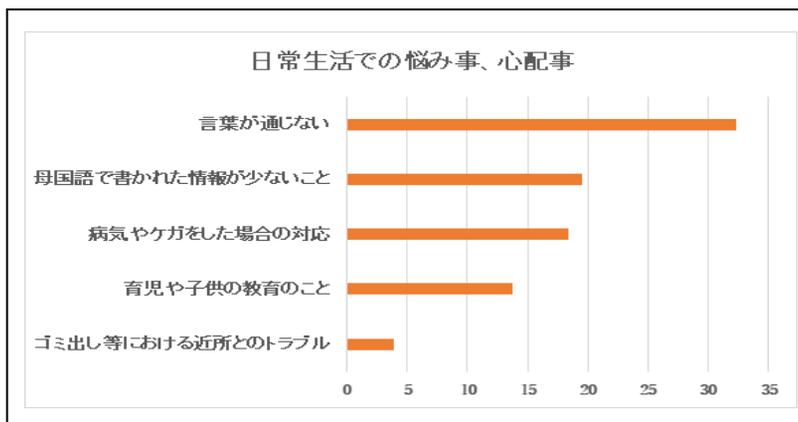
■解決策

(1) 多言語による情報発信。      (2) 外国人住民とのコミュニティをつくる。

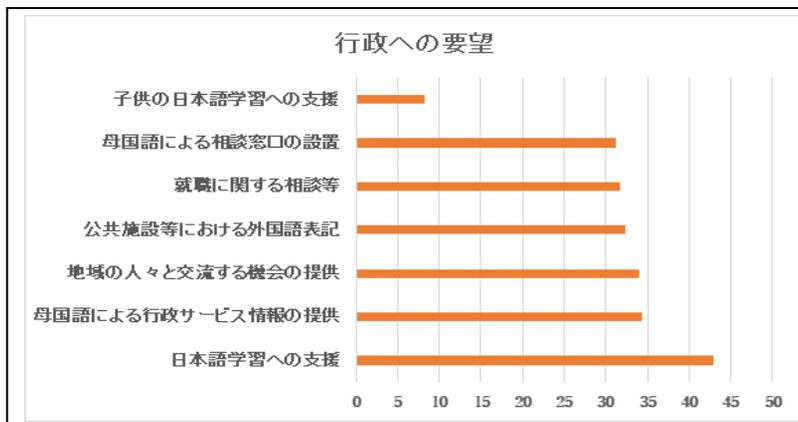
■現状1

石川県ホームページにある在住外国人に対するアンケートを参考に  
 して現状の課題を考えた。

対象者：石川県内に在住する特別永住者を除く外国人300人



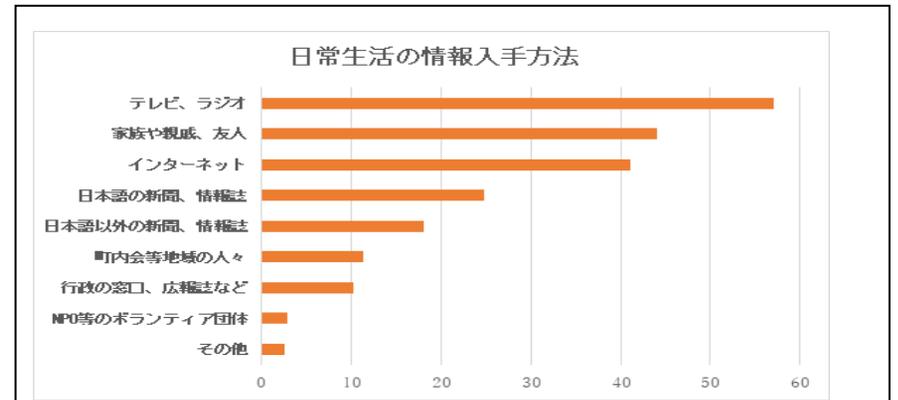
(図1)



(図2)

母国語で書かれている情報の少なさから、言語に関して  
 大きな不安を持っていると考えられる。

■現状2

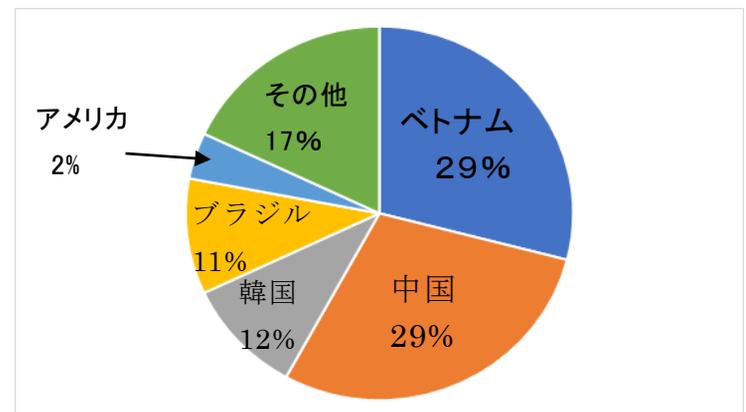


(図3)

インターネットやテレビ、ラジオなどからの情報入手に頼っている  
 ため、より正確な情報が得られていないという可能性が高い。

■現状3

石川県の外国人移住者の国籍別割合



(図4)

移住者の多様化が見られる。

■具体的内容

(1) 回覧板や新聞に多言語表記を加える

地域メディアを多言語化することで在住外国人も情報を知ることができる。

講演会等で日本語学習や情報を得る機会の場を設ける

災害時の防災指導、育児や教育、医療関係などにおける相談セミナーを開く。

必要な情報をまとめたパンフレットをつくる

健康診断、ごみの分別など広報案内パンフレットをあらかじめ作成しておき、

セミナーを開いた際に配布する。

(2) 地元民と交流する(コミュニティをつくる)機会を設ける

施設を借りて交流会を定期的に催し、地元住民との信頼関係を築く。

■効果

日本に来る外国人の心配事が解決し、石川県に移住してくる外国人の増加が期待できる。

コミュニティ形成活動によって外国人移住者が増える。 (実例) 滋賀県長浜市 わたしたちの長浜サイトより

■参考文献

- ・石川県在住外国人に対するアンケート-国土交通省 <https://www.mlit.go.jp/common/000054062.pdf>
- ・わたしたちの長浜 [https://www.city.nagahama.lg.jp/section/kyouken/junior/category\\_03/01\\_other\\_cu](https://www.city.nagahama.lg.jp/section/kyouken/junior/category_03/01_other_cu)